

道央家族会報 16 号

ホームページ URL

<http://do-ren.ciao.jp/do-o.html>



* ごあいさつ

道央知的障がい児・者家族会 会長 畑 誠一

初夏の候、会員の皆様には益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

日頃より、道央家族会の運営にご理解・ご協力を賜り心より感謝申し上げます。

当会の2020年度総会を書面による決議にご賛同いただき、誠にありがとうございました。

昨今の新型コロナウイルスが感染拡大していることなどから、皆様の安全を第一に考え、苦渋の決断であったことをご理解いただき、ご協力に改めてお礼申し上げます。

新型コロナウイルス感染も落ち着いてきたようにも思われますが、まだ、完全自粛解除まで至ってはいません。

子供たちも外出がままならない中でも頑張っています。それを思うと不憫でなりません、今少しの辛抱かと思えます。親御さんも同様と思えます。

これからも感染拡大の防止マニュアルを実践し、一日も早く終息し、普段の生活に戻ることを切に願っております

会員の皆様、関係各位の皆様ご自愛くださり、共に乗り越えていきましょう。



* 安全・安心・安定した暮らしを願い・・・

道央知的障がい児・者家族会 顧問 ハローENJOY 施設長 田中 秀典 様

道央地区知的障がい児・者家族会におかれましては、障がいのあるお子様の現状や将来の不安を感じ、あの「障害者自立支援法」施行に対して、いち早く反対の意思表示を明確にするために会の発足に踏み切った時から、その活動を見てきた一人として本当に頭の下がる思いです。あれから10年以上が経過しても、変わらぬエネルギッシュな活動に敬意を表します。

さて、新年度が始まって新型コロナウイルス蔓延のために、会員の皆様の出席のもと開催されるべき総会も書面にての承認という、異例の事態に困惑している事でしょう。私ども施設も同様で、緊急事態宣言の解消はされたものの、札幌市との往来は慎重に行なうとのことで、思うような活動ができない中で、只々、新型コロナウイルス拡大が終息するのを念じている現状であります。

私のところの施設の現状をお話しますが、年度末の帰省は「無し」。ゴールデンウィークの帰省も「無し」。行事は全て「中止」。外出は施設の近くにある自動販売機とセブンイレブンのみ。うがい・手洗い・手指消毒・マスク着用・検温・換気・ソーシャルディスタンスの徹底を行なっています。この新しい生活様式「新北海道スタイル」を忠実に実践しています。

また、作業に関しては、物づくり作業をしても即売会が「中止」。店舗も「休業」と販売機会が奪われています。下請け作業も企業自体が「休業」していますので、受注もなく困り果てています。作業収入がないということは作業工賃が払えないというわけで、本当に利用者には申し訳なく思っています。

最後になりますが、3密状況を防ぐといっても職員と利用者と家族の皆様との“心の密”は濃厚にしなければと思っています。今後とも、私ども施設と足並みを揃えながら利用者の皆様の幸せを願い、共に活動をしていきましょう。ご家族皆様のご健康を願い、再びお会いする日を楽しみにしております。



* 2020年度事業計画

【基本方針】

障がいのあるすべての人々が安心して暮らせる社会を目指し、家族会同士の結束を強め、北海道知的障がい児・者家族会連合会と連携しつつ、道央地区知的障がい児・者家族会としての活動を展開する。

【重点事項】

1. 家族の高齢化がすすむ中で、世帯交代できる体制づくり
2. 研修会や懇談会を通じ、各家族会会員との交流
3. 道央家族会報を、年2回発行
4. 未加入家族会へ情報提供と研修会等の案内をしつつ、加入の働きかけ
5. 道家連の研修会・総会への協力
6. 全施連について、道央としての意見を提出しつつ、道家連の対応を見守る。

※【重点事項】6. についての考察

これまで、道央の各家族会からの会費15,000円のうち、8,000円を道家連会費として納めています。2019年度に道家連が全施連に納めた会費は190,500円ですが、2021年度からは、411,000円という値上げ案が提出されていました。全施連の値上げの根拠は、活動費の他、事務局員の給料をアップさせたいとのことでした。

ところが、新型コロナウイルス感染拡大防止ということで、理事会や常任委員会の議案書をメール等でやりとりするしかなく、実質的な活動も制限されることから、値上げは、2022年度まで延期となりました。

道家連としては、値上げ案に反対していますが、全施連の支部である以上、最終的には値上げ案に従わざるを得ません。値上げに対応するために、「道家連へ納めるべき各家族会の会費を8,000円から10,000円になるとしたら、承諾いただけるでしょうか」という検討課題が各地区家族会へ提出されています。

会費の大部分が、全施連に納める会費と全施連が主催する会合に出席するための旅費交通費等で占められています。

道央役員会では、「このまま突き進むのであれば、道家連が全施連を退会することもやむを得ないこと」と結論が出ていますので、「道央知的障がい児・者家族会としては、値上げに反対である」と道家連に表明したいと思います。

2020年度の全施連に加盟の道県連支部は、今年度あらたに長崎県が退会し、全国47都道府県中、道県連の合計が20だけとなりました。

全施連の賛助会員になるには事業所単位なので、北海道のどこかの事業所の家族会が全施連の団体賛助会員になって、賛助会費5,000円を支払うことで、事足りるのでは……と考えてしまいます。

道家連と道央の関連団体として、「北海道知的障がい福祉協会」並びに「道央知的しょうがい者福祉施設協会」があります。いつも何かと助けていただいたり、情報をいただいたり、心強い味方です。道家連とは「車の両輪のような関係」とも言ってくれます。

そして、道家連は今年の4月から「きょうされん北海道支部」の賛助会員になりました。自動的に「きょうされん」の全国組織の賛助会員ということにもなりました。「きょうされん」の主体的活動は国会請願署名運動ということで、私たちの活動にも直結し、共に活動することを歓迎してくれています。

「北海道手をつなぐ育成会」は、道家連が賛助会員として加盟することを三役会では歓迎ということですが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、理事会を開催できない状況です。少々お時間をくださいとのこと。まずは、出来ることから共に活動していくことを確認し合っています。



** 編集後記 **

連携する団体が全国組織という名目だけでなく、実際の活動はどうか

私たちが求めるものと合致しているのか

連携するに相応しい活動をしているのか

考えさせられます

会員の皆様は どのように思われるでしょう

ご意見がございましたら ご一報いただけますと幸いです

